

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和6年6月6日）

1 主な報告等

(1) 沖縄県警察官採用試験の現状と取組について

委員から、警察官志望者が半減し、人材の確保に向けて様々な方策や取組がなされていることがよく分かった。様々な警察活動を通じて、将来社会の役に立つ職業に就きたいと思っている子供達に対し、警察官への憧れを抱かせ、心に響かせることも重要である。この様な状況であっても、警察官としての適性をよく見極めて採用していただきたい旨の発言があった。

(2) 迅速かつ組織的な初動対応等による人命救助について

委員から、この種事案発生時に対する日頃からの心構えやイメージトレーニング等により、警察活動が困難な場所において二次被害もなく人命を救助できたことは大変良かった。今後も、装備資機材を有効活用する等、警察官等の二次被害防止に努めつつ、助けを求める者の救出・救助活動に当たってもらいたい旨の発言があった。

(3) 通信指令業務の強化に向けた取組について

委員から、各種警察活動における通信指令業務が担う役割は、極めて重要である。通信指令業務研修の受講希望者3名が女性と聞き、大変頼もしく思う。今後も職員に対する様々な研修等を通じて、各種技能向上に努めてもらいたい旨の発言があった。

(4) 暴力団構成員らに対する中止命令の発出について

委員から、中止命令が犯罪の再発防止と被害者の安全対策に大変効果的であることが分かった。中止命令を発出した後も被害者の安全確保に向けた様々な対策が取られており、安心の醸成に繋がっている旨の発言があった。

(5) 「飲酒運転根絶共同アピール」の発表について

委員から、行政や市町村との連携のみならず、県内の民間企業・団体に対する飲酒運転根絶のアプローチの仕方を工夫する等、県民・市民を大きく巻き込んで飲酒運転根絶運動を盛り上げていただきたい旨の発言があった。

(6) その他

警察本部から、6月7日（金）に沖縄県議会議員選挙の告示が予定されている。先週末には、各党首クラスの応援があり、活発な選挙戦が展開されている。厳正な取締りを行うとともに、安全な環境で立候補者の選挙活動が行われ、有権者による投票権が適正に行使されることとなるよう努めていきたい旨の発言があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 名護警察署協議会委員の解嘱及び委嘱について
- ・ 公安委員会あて苦情の受理について
- ・ 審査請求の裁決について
- ・ 審査請求に関する説明について

(2) 交通部

- ・ 自動車運転免許の行政処分について

(3) 警備部

- ・ 警察職員等の援助要求について